

令和7年度 二学期終業式 20251223

○2学期の総括

2025年もあとわずか。どのような年だったか。

進路を決めることができた。部活動を頑張った。探究を頑張った。読書を好きになった。推しとの生活を満喫した。新しい趣味と出会った。それぞれに大切な何かがあったことだろう。少し1年を振り返ってもらいたい。

私からの話は、「いと」意図に関すること。

今日も3つ話したい。3つそれぞれ話の意図を考えながら聞いてほしい。ただ、2つは案内です。

○1つ目は、4校の連携協定について

富士宮には4つの公立高校がある。富士宮北高校は、富士地区、富士宮地区、山梨県南部、沼津、三島地区、清水地区、これらから通ってくれている。

通学距離がある。この地域は、東海道沿線から離れ、常に魅力的な地域でありつづけないと、あえて、この地を目指してもらえないと思う。そのためには何ができるのか。

この富士宮の公立高校には、富士宮ならできることがあって、これを4校で始めた。それは、4つの高校が物理的に近いということ。30分以内に自転車で移動できる場所に4つの学校がある市は少ない。それを生かした取組をしていきたい。そこで、4校で何かできないか、協力して教育を魅力的なものができないか、そう思って始めた。

生徒会で議論をはじめてもらったが、生徒の間で、対話して、色々なことを乗り越えて、何かを一緒にやってほしい。

○2つ目は、来年の始業式で話したいこと。

みなさんの座右の銘は何ですか。もっとも大切にしている言葉でも良い。

そんな話をしたい。先日、ある会議で、座右の銘は「先輩には挨拶を」だと、話をしていた方がいた。その時は笑ったが、深いなと後で思った。来年、新年を迎えたときに、ぜひ、何か、大切にしている言葉に出会ってほしいし、気づいて欲しい。

この話は始業式です。ぜひ、考えてほしい。

○3つ目。

今年は、生成 AI が、社会変革を大きく進めた歴史的な変化の年だったと思っている。おそらく数年前（特に昨年 of ChatGPT）からその兆しはあったし、知らず知らず、何だか好きな情報ばかり届くといったフィルターバブルは気づいていたし、フェイクニュースなど、どこまでが本当なのか不安になるハルシネーションも漠然としていた。

そして今年、全ての生活の基盤に落とし込まれ、生成 AI は、社会実装したと感じている。

生徒のみなさんは、おそらく、大きな歴史の転換点に立ち会っている。ひとつは、2020年のコロナ、そして、今年2025年の生成 AI の社会実装。そのような中で、私たち一人一人に求められるものって何なのだろうかとは私考えることが多い。

私の友人で、数学の教師がいる。先輩である。

今年もインフルエンザ（変異株で感染力が半端ない）が流行した。数年前ではあるが、同様のことがコロナであった。授業を行えないという経験である。

数学は、1時間1時間がとても大切で、1回わからなくなると次もわからないという連鎖が起きやすい。先生はそれを嫌がって、「俺の代わりにオンデマンド授業を進める。この分野は、俺は教えない。」と宣言して、世の中にある多くのオンデマンド教材を使って、授業を進めた。家でもできるから、寝込んでいる以外は、家でもその教材で進められるとして。

面白いのはここから。その先生は、1つのアンケートを、全員に実施した。

数学の授業について、オンデマンド授業を振り返り、その分野がわかるようになったかも含めて、1「(授業を)俺がやるのがいい」2「俺7割、オンデマンド3割」3「俺5割、オンデマンド5割」4「俺3割、オンデマンド7割」5「オンデマンドがいい」でアンケートした。

さて、どんな結果だろうか。

さすが生徒たちは、大人のことをよくわかっている。トータルでは、案外、1「俺」とか、5「オンデマンドのみ」は答えない。となると、2、3、4にどう割り振られたか。

もっとも多いのは3だった。この段階でも世の中の変化を感じたそうである。

学ぶ方法はどんどん進化していると。

ところが、

クラスとか集団とか、もう少しよく見てみると、あることがわかったようだ。

数学が苦手で、成績が下位のクラスの結果は、2の「俺7割、オンデマンド3割」が多い。そして、数学が得意で、成績が上位のクラスの結果は、4の「俺3割、オンデマンド7割」が多い。

つまり、苦手な生徒は、直接先生に教えて欲しい。色々想像できます。一方で、得意な生徒は、別に先生でなくても内容はわかるし、進められる。

この結果は、私にとって、確実なアカデミックなデータでなかったとしても、腹落ちする。ここからとても大切な示唆があったと思う。

1つ、勉強は、意欲の影響を受ける。

もう1つ、教育も変化し、進化している。

さて、私たち一人一人に求められるものって何だろうということを考えていると言った。ここは、学校であり、教育の場である。教育というのは、「誰かが意図的に、他人の学習を組織化することである」と言っている学者がいる。

そのため、誰かが意図的にやっているのも、当然、常に失敗も付きまとう。そして、この失敗こそが教育の大切な要素である。

つまり、私たちに求められるのは、1つは、チャレンジするハートだと思う。踏み出さないと教育的ではない。受動では、本来得られない。

もう一つは、変化に耐えうるには、自分の目で、自分の耳で感じて、自分で考えて、他人と対話することだと思う。対話をするときには、自分の言葉を紡ぎ出さないといけないので、選択の連続となる。自分の言葉を発したら、間違えたら、謝らないといけない。だから難しい。

生成 AI による社会変革がいよいよ社会実装しはじめたからこそ、チャレンジして、対話して、ということをぜひ噛み締めておいて欲しいと思っている。

さて、最後になりますが、

・年末です。交通事故、絶対に命を大切にすること。ヘルメットをかぶっていなかったために、命を落とした高校生がいる。命、これがすべてだと思っている。

・感謝をすること。保護者、友人、先生。歳の終わりに感謝しましょう。

(これは言えませんでした)

・3年生、進路を決めた人、「何になるかではなくて、何をやるか」です。大学生になる、社会人になることに意味を求めている場合がよくあります。これは私たちも責任があります。どこの大学に行く、どこの企業に行く、ここに重きはありません。「何をやるのか」がもっとも大切です。進路決定がこれからの人、「孤独な時もあると思いますが、孤独こそ、人を成長させる対話が生まれています」粘っていきましょう。

・1、2年生は節目を大切に。もう一度、原点に戻るのはこういう節目です。周りは関係あ

りません。自分と向き合ってください。

来年は、「ひのえうま」という、いわくのある年です。楽しんで新年を迎えてください。